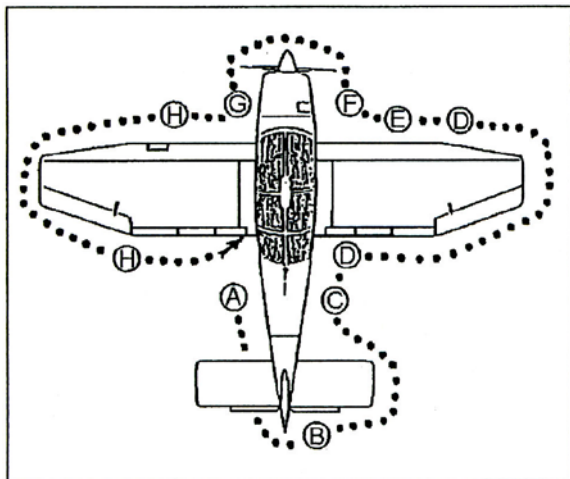


ロバン DR400 チェックリスト

① 準備

1. マグネット・キー REMOVED
2. サーキットブレーカー ALL IN
3. 操縦装置 FREE
4. フラップ FULL DOWN
5. マスター・スイッチ ON
6. 燃料ゲージ(残量) CKD
7. マスター・スイッチ OFF
8. 燃料バルブ OPEN
9. 搭載書類 CKD
10. 荷物搭載状況(取り出し) CKD

下図に従い外部点検(点検表使用)を行う。



A

1. 燃料タンクキャップ LOCKD
2. 衝突防止灯 CKD
3. VHF アンテナ CKD
4. 静圧孔 CKD
5. 燃料タンク水抜き CKD

B

1. 水平尾翼 CKD
2. 垂直尾翼 CKD
3. 尾灯(白) CKD
4. 曳航装置 CKD

C

1. 静圧孔 CKD
2. 胴体下面 CKD
3. トラポンアンテナ CKD
4. 燃料タンク水抜き CKD

D

1. フラップ、エルロン CKD
2. 翼端、翼端灯(緑) CKD
3. 着陸灯(右) CKD
4. 失速警報機 CKD

E

1. 右主脚 CKD
2. タイヤ、空気圧 CKD

F

1. オイルレベル、オイルキャップ CKD
2. エンジンカウリング、取り付け CKD
3. プロペラ、スピナー CKD
4. エアーインテーク CKD
5. フェルストレナーナ水抜き CKD

G

1. 前脚、タイヤ、空気圧 CKD
2. トーバー REMOVED
3. 排気管、消音器 CKD
4. プロペラ手回し(4ブレード) CKD
5. キャノピー、バックミラー CKD

H

1. 左主脚、タイヤ、空気圧 CKD
2. ピトー管 CKD
3. 着陸灯 CKD
4. 翼端、翼端灯(赤) CKD
5. フラップ、エルロン CKD

② エンジン始動前

1. キャノピー LOCK
2. パーキングブレーキ SET
3. フラップ UP
4. シートアジャスト SET
5. シートベルト、ショルダーハーネス SET
6. 操縦装置 CKD
7. トリムタブ CKD & NEUTRAL
8. 離陸ブリーフィング .. COMPLETED

③ エンジン始動

1. キャブレターヒート COLD
2. ミクスチャー FULL RICH
3. マスター・スイッチ ON
4. 衝突防止灯 ON
5. 燃料残量 CKD
6. 燃料バルブ CKD & OPEN
7. マグネト・キー “OFF” Position
8. 燃料ポンプ ON
9. スロットル 3 TIMES PRIMING
& OPEN 2 cm
10. プロペラ周辺 CKD CLEAR
11. マグネト・キー START
12. 油圧計 CKD
13. スロットル 1200 RPM

スターターは30秒以上使用してはならない。再使用する場合は、1分以上の間隔をおくこと。

始動後、直ちに油圧計をチェックすること。15秒経過しても指示が“0”の場合は、直ちに MIXTURE CUTOFF でエンジンを止め、原因を調べること。

④ エンジン始動後

1. 暖機運転 1200 RPM
2. 燃料ポンプ OFF

3. オルタネータ・スイッチ ON
4. 電流計 CKD
5. 真空計 CKD
6. 灯火類 CKD
7. アビオニクス・スイッチ ON
8. 無線機、NAV ON & SET
9. トランスポンダ SBY
10. 高度計(ATIS) SET
11. D/G SET

⑤ タキシング

1. パーキング・ブレーキ FREE
2. 車輪ブレーキ CKD
3. 旋回計 CKD
4. D/G CKD

OIL TEMP が、黄色弧線範囲にある時は、1200 RPM 以上に回転を上げてはならない。

⑥ エンジンランナップ

1. パーキング・ブレーキ SET
2. 油圧計、油温計(IN GREEN) ・ CKD
3. 燃料圧警報 CKD
4. ミクスチャー FULL RICH
5. キャブレターヒート COLD
6. スロットル 2000 RPM
7. マグネト・チェック
BOTH~L、BOTH~R:MAX175RPM
L ~ R :MAX50RPM
8. キャブレターヒート HOT
100RPM DROP ... CKD & COLD
9. アイドリング ...600~650RPM CKD
10. マグネト・グランドアース CKD
11. ミクスチャー LEAN CKD
12. アクセラレーション(2回) CKD
13. フルスロットル CKD
14. スロットル 1200 RPM

⑦ 離陸前点検

1. スロットル 1200 RPM
2. 操縦装置 CKD
3. マグネト・キー BOTH
4. シートベルト、ショルダーハーネス
& キャノピー CKD
5. 燃料バルブ CKD & OPEN
6. 燃料ポンプ ON
7. トリムタブ T/O POSITION
8. エンジン計器 CKD
9. 飛行計器、航法計器 ..CKD & SET
10. トランスポンダ ALT
11. フラップ 1 STEP

⑧ 離陸

1. フルスロットルMIN 2400RPM
2. 離陸速度 100km(53kts)
3. 初期上昇速度 130km(70kts)
4. 上昇速度(障害物後) 150km(81kts)

⑨ 離陸後(およそ 600ft にて)

1. フラップ UP
2. 燃料ポンプ OFF
3. 燃料圧警報 CKD

⑩ 巡航

1. レベルフライト SET
2. スロットル ADJUST
3. ミクスチャー 5000ft以上で調整

⑪ 降下

1. ATIS、高度計 CKD & SET
2. 着陸ブリーフィング .. COMPLETED
3. 飛行計器、航法計器 SET

⑫ ダウンウインド

1. 無線機 RADIO CALL
2. シートベルト、ショルダーハーネス・CKD

3. ミクスチャー FULL RICH
4. キャブレターヒート HOT
5. 燃料ポンプ ON

⑬ アビーム

1. スロットル 1800 RPM
2. 速度 150km(81kts)
3. フラップ 1 STEP
4. トリムタブ SET
5. 着陸灯 ON

⑭ アプローチ

1. キャブレターヒート COLD
2. 速度 115km(62kts)
3. フラップ FULL DOWN
4. トリムタブ SET

⑮ 着陸後

1. フラップ UP
2. 車輪ブレーキ APLY
3. 燃料ポンプ OFF
4. 着陸灯 OFF
5. トランスポンダ OFF

⑯ パーキング

1. パーキングブレーキ SET
2. 無線機スイッチ OFF
3. アビオニクススイッチ OFF
4. スロットル 1000 RPM
5. ミクスチャー IDLE CUT OFF
6. マグネト・キー OFF
7. オルタネータ・スイッチ OFF
8. 衝突防止灯 OFF
9. マスター・スイッチ OFF
10. 燃料バルブ CLOSE
11. トリムタブ NEUTRAL
12. フラップ FULL DOWN & UP
13. チョーク後、パーキングブレーキ..OFF

巡航性能

機体重量 : 1,000kg (予備燃料なし)

標準大気状態

ミクスチャーは最適状態に調整、

使用可能燃料 100リッター

無風状態

プロペラ : センセニッヒ 76-58

高度	力	数	費率	速度	間	離
0	70	2700	36.5	230	3	690
	64	2600	34	221	3.14	715
	58	2500	31	212	3.33	750
6000	52	2400	28	198	3.56	780
	63	2700	33.5	228	3.17	750
	58	2600	31	218	3.33	750
12000	54	2500	29	208	3.48	790
	49	2400	27	194	4.04	790
	56	2700	30	226	3.40	825
	53	2600	28.5	215	3.52	830
	50	2500	27.5	204	4	815
	47	2400	26	190	4.14	805

出力の僅かな落ち込みが見られるまで **Mixture Control** を静かに引き、正常な運転状態が得られるまで **Mixture Control** をゆっくり戻す。

Mixture を過度に薄くしないよう、注意すること。これは **Engine** の加熱を招く。

出力を増加する場合、常に **Mixture** を濃くすること。

緊急時チェックリスト

ENGINE FAILURE

① 離陸滑走中

1. スロットル IDLE
2. ブレーキ APPLY MAXIMUM
3. ミクスチャー IDLE CUT OFF
4. 燃料バルブ CLOSE
5. マスター・スイッチ OFF
6. マグネット・キー OFF

◇ Off Runway した場合、速やかに機外に脱出する。

② 離陸直後

1. 滑空速度 135km (73kts)
2. ミクスチャー IDLE CUT OFF
3. 燃料バルブ CLOSE
4. マグネット・キー OFF
5. マスター・スイッチ OFF

◇ 障害物等を避けるためのわずかな方向変化を除き、直進すること。滑走路に戻ろうと試みてはならない。

滑空速度を確立した後、着陸適地を選択することに専念する。

③ 飛行中

1. 滑空速度 145km (78kts)
このときの滑空比は9.3である。
2. 燃料バルブ OPEN
3. 燃料ポンプ ON
4. ミクスチャー FULL RICH
5. スロットル OPEN 2~3cm
6. マグネット・キー BOTH

- ◇ プロペラが空転していれば再始動する。
プロペラが停止している場合はスタータを使用する。

④ 再始動せず、不時着

1. シートベルト、ショルダ－ハーネス
..... SECURED
2. 燃料ポンプ OFF
3. ミクスチャー IDLE CUT OFF
4. スロットル IDLE
5. マグネット・キー OFF
6. 燃料バルブ CLOSE
7. オルタネータ・スイッチ OFF

最終進入

8. キャノピーロック OFF
9. フラップ FULL DOWN
10. マスター・スイッチ OFF

- ◇ 接地直前に衝撃防止姿勢をとる。

- ◇ 着陸後、風防が開かない場合

1. 風防ハンドルをオープン位置にする。
2. 風防肘掛の計器板両側に位置している2個の風防投棄レバーを引き、垂直位置まで起こす。
3. 上記操作後、風防を投棄する。

LOW OIL PRESSURE

- ◆ 滑油圧力の低下が認められた場合、滑油温度を点検する。滑油温度が高すぎの場合、

1. スロットル MINIMUM

- ◆ 不時着の準備をしながら、一番近くの空港に向かうこと。

ALTERNATOR FAIL

1. オルタネータ・警告灯 CKD
2. オルタネータ・スイッチ
..... OFF THEN ON

- ◆ この操作は OVER VOLTAGE RELAY を RESET する操作である。

3. オルタネータ・サーキットブレーカ
..... CKD IN

- ◆ オルタネータ・警告灯が消えない場合

 4. オルタネータ・スイッチ OFF
 5. 必要最小限以外の電気装備品・・OFF
 6. 可能な限り早急に着陸する。

SPIN

1. スロットル IDLE
2. ラダー ... 回転反対方向に一杯使う
3. エルロン、エレベータ ... NEUTRAL

- ◆ 回転が停止するまでこの操舵位置を保持する。

UNABLE ELEVATOR CONTROL

1. エレベータ・トリムとパワーを使用し、水平飛行状態(速度130km、70kts)フラップ上げに安定させる。
2. エレベータ・トリムの設定を変えてはならない。
3. 降下角度の調整はパワーのみにて行う。パワーは接地直前でのみ絞る。

ICING

1. キャブレターヒート …………… HOT
2. スロットル …………… AD PWR
3. キャビンヒート(デフロスト)・ MAX HOT
4. 戻るか、高度を変える。
5. 一番近くの飛行場に着陸する。

- ◆ 主翼前縁に0.5cmの氷の層が形成されると、失速速度が増大する。
- ◆ キャブレターヒートを引き続ける場合、ミクスチャーの調整は必ず必要である。
- ◆ キャブレターヒートの使用は完全に引くか、完全に戻すか、の2通りである。中間位置の使用は ICING を増大させる。

ENGINE FIRE IN FLIGHT

1. 燃料バルブ …………… CLOSE
2. スロットル …………… FULL FORWARD
3. ミクスチャー …………… CUT OFF
4. 燃料ポンプ …………… OFF
5. オルタネータ・スイッチ …………… OFF
6. キャビンヒート、換気 …………… OFF
7. 滑空速度 …………… 145km/h(76kt)
8. 不時着の用意(④項、最終進入参照)
9. エンジンの再始動を試みてはならない。

参考:

法 59 条 航空機に備え付ける書類

- 一 航空機登録証明書
- 二 耐空証明書
- 三 航空日誌
- 四 その他必要な書類*

*規則 144 条の 2

- 一 運用限界等指定書
- 二 飛行規程
- 三 適切な航空図
- 四 運航規定(定期運送事業の場合)

機長の出発前の確認事項

規則 164 条の 14

- 一 当該航空機及びこれに装備すべきものの整備状況
 - 二 離陸重量、着陸重量、重心位置及び質量分布
 - 三 法 99 条の規定により国土交通大臣が提供する情報(航空情報)
 - 四 当該航行に必要な気象情報
 - 五 燃料及び滑油の搭載量及びその品質
 - 六 積載物の安全性
- 2 機長は、前項第一号に掲げる事項を確認する場合において、航空日誌その他の整備に関する記録の点検、航空機の外部点検及び発動機の地上試運転その他航空機の作動点検を行わなければならない。

○目的空港 SPOT 調整

○FLT PLAN 記入提出

(熊本情報: 096-232-2854)

○福岡Info.: 126.95 Mhz